

豊岡市 合併前市町の歴史

旧竹野町

平成17年4月1日、1市5町(豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町)が合併し、豊岡市が誕生しました。

新庁舎の完成に合わせ、合併までの各市町の歴史を振り返ってみましょう。

《問合せ》竹野支所 ☎47-1111

昭和30年3月3日に竹野村、中竹野村、奥竹野村、三椒村の4村が合併し、新竹野村が誕生。2年後の昭和32年4月1日に、町制施行で「竹野町」となりました。

年月	主な出来事
昭和40年7月	但馬海岸有料道路開通(昭和47年、但馬海岸第2有料道路開通)
昭和54年7月	竹野海岸国民休暇村オープン
昭和57年4月	常備消防業務開始(城崎消防署に事務委託)
昭和61年5月	北前船「辰悦丸」寄港
昭和61年7月	県道竹野・久美浜線「鑄物師戻峠」開通
昭和62年4月	4小学校(森本、大森、三原、椒)が統合し、竹野南小学校開校
昭和62年12月	国道178号新江野トンネル開通
平成2年5月	たけの中央公園・東大谷野外活動施設(たけのこ村)オープン
平成4年7月	大浦海岸に日本初のスノーケルセンターオープン
平成5年12月	国道178号新土生トンネル開通
平成8年1月	町立森本診療所開設
平成9年1月	ロシア船籍「ナホトカ号」沈没により重油が竹野海岸一帯に漂着
平成12年12月	竹野町役場新庁舎完成
平成15年3月	町内の排水処理施設が全て完成
平成16年9月	地域保健福祉センター(現竹野健康福祉センター)完成
平成17年2月	合併50周年・閉庁記念式典挙行

「北前の里」として

北前船は、江戸中期から明治末期にかけて、「北回り航路」と呼ばれるルートを、各港に立ち寄りながら交易し、隆盛を極めた大型帆船のことで、竹野はその寄港地として大いに栄えました。

100年ぶりに復元された北前船「辰悦丸」が全国を巡り、昭和61年に「竹野新港」に寄港しました。昭和62年、「北前の里」として第1回北前まつりを開催。平成4年、その拠点「北前館」をオープンしました。



▲復元北前船「辰悦丸」寄港

景勝地「竹野海岸」

昭和38年に指定された山陰海岸国立公園内にある竹野海岸には、多くの美しい海水浴場や岩礁海岸が点在しています。平成8年に竹野浜が「日本の渚百選」に、平成10年に竹野浜海水浴場が環境庁指定の「日本の水浴場88選」に選定されました。



▲昭和60年当時の竹野浜

「幹線道路」の整備

但馬海岸有料道路、第2有料道路が開通し、海岸沿いの集落(宇日、田久日、切浜、須井)が陸の孤島から解消されました。

県道竹野・久美浜線「鑄物師戻峠」の開通で、城崎との往来時間が短縮。また、国道178号の新江野トンネル、新土生トンネルが開通し、道路状況は格段に改善されました。



▲自衛隊による海岸道路岩壁発破工事

「地域文化」の発展

竹野町出身で日本書道界の重鎮である書家「仲田光成」との縁で、書の普及と地域文化の高揚を目指し、平成13年に、第1回仲田光成記念「但馬・竹野全国かな書展」を開催。現在13回目を迎えています。また、平成14年には仲田光成記念館を兼ねた住吉屋歴史資料館が完成、オープンしました。



▲第1回仲田光成記念全国かな書展の様子

将来の「竹野町」のために

地方自治体を取り巻く環境は大きく変わり、国・地方を問わず厳しい財政状況が続く中、住民の日常生活圏の拡大や広域的な行政課題に対応し、行財政基盤の強化や身近なサービスの維持、向上を目指すには、「もはや、市町合併は避けて通ることのできない課題」となりました。

そして、「竹野町」は1市4町と合併することを選択しました。

●発行／豊岡市
☎07961231111
FAX2411004

●編集／政策調整部秘書広報課
FAX2411004

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(支所)
竹野 ☎5247-3111
日高 ☎5442-1100
但東 ☎5442-1100